

CSR報告書 2020



サステナビリティ経営に向けて

新東工業は、1934年の創業以来、「ものづくりの心を大切に、社会に貢献したい」という思いのもと、世界に通用する技術を追求する歴史を歩んでまいりました。

社会の潮流をとらえ、社会に求められる技術を通じ、皆さまの暮らしを支える新東工業の精神は、現在にも受け継がれています。

これからも、新東工業の原点である培われた技術と信頼を大切にしながら、未来に向けて挑戦し続けていくことで、すべてのステークホルダーの皆さまと絆を深め、新たな価値を提供し続けてまいります。



はじめに、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）により、世界各地でお亡くなりになられた方々にご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。そして、感染拡大防止に向けて、あらゆる国と地域で、最前線で戦ってくださっている医療関係者の皆さまに敬意を表し、感謝を申し上げます。

現在、COVID-19の流行による計り知れない世界的な経済への影響が心配されておりますが、それ以前からすでに、さまざまな業界において、猛烈なスピードで変化が進んでおり、当社を取り巻く環境は激変し始めています。このように加速する「時代の変わり目」を勝ち抜いていくためには、「自ら変わっていかねば、従来の延長線上に未来はない」との強い危機感をもっています。そのために、まずは私たち自身の競争力を磨き続けなければならないと考えています。そして、未来に向け、変えてはいけない当社の原点を大切にしながら、臆することなく、新たな分野へのチャレンジを加速させています。

こうした将来にわたる成長を実現するためのキーワードのひとつが、サステナビリティ経営の推進です。持続

可能な社会の実現とともに、当社の持続的な成長に向け、すべての事業活動においてESGの推進を最重要課題と捉え、取り組んでおります。また、グローバルに事業展開を進めている当社も国際社会の一員として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に関する責務をしっかりと果たしてまいります。

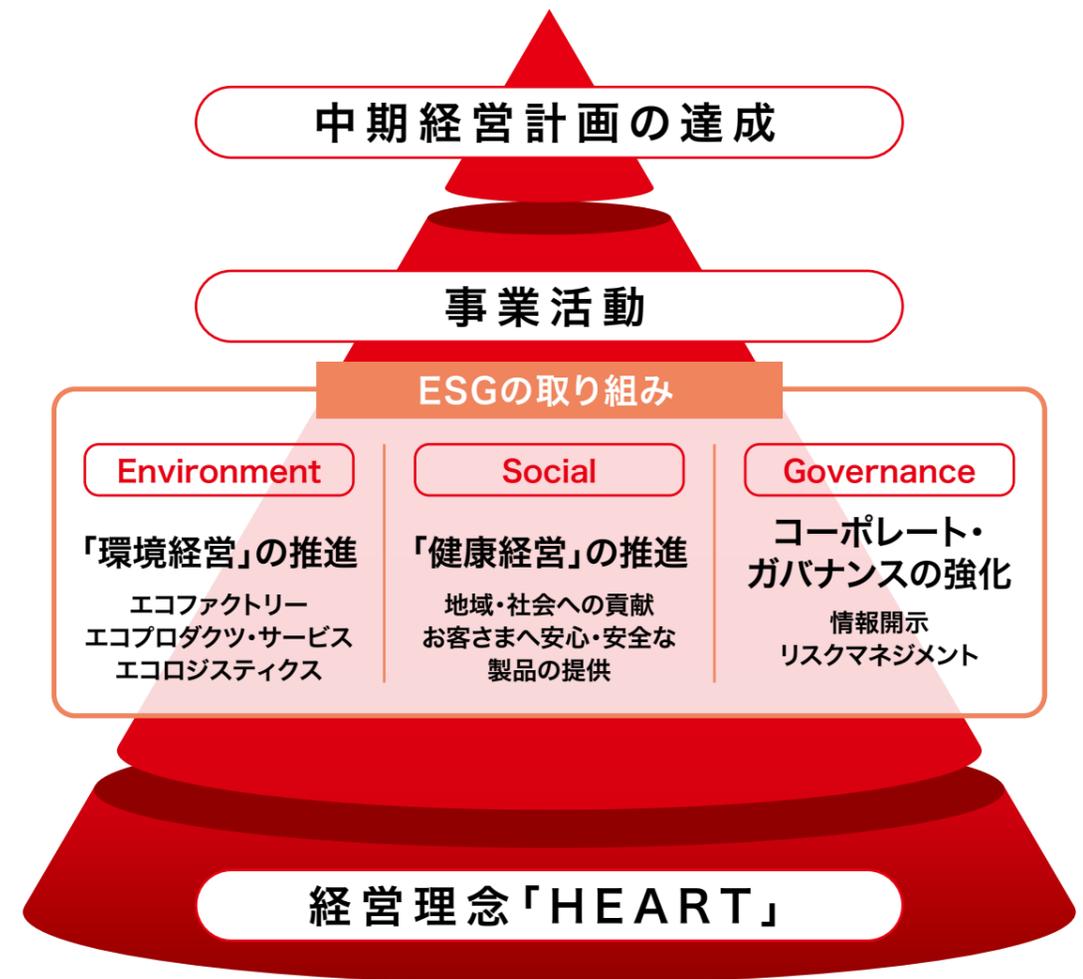
まだまだCOVID-19との戦いは終わることなく、経済的な厳しさは増すものと思われます。しかし、必ず訪れる終息の時まで経済活動を停滞させないよう、社員一人ひとりが自分たちだけのことではなく、何か少しでも、社会のために、みんなのために、と思い行動しながら、粛々と技能を磨き、今、力を備えることで、日本の製造業の復興に貢献していきたいと思っております。そして、その先の未来のためにも、世界中の皆さまから必要とされる企業であり続けるよう、これからも地域に根ざした企業をめざし、日本のみならず世界各地にあるそれぞれの拠点のお客さまや地域の皆さまから信頼していただけるよう、サステナビリティ経営に取り組んでまいります。

私たちは今も、そして、これからも、企業価値の向上に取り組んでまいります。

取締役社長
永井 淳

新東工業グループとESGについて

新東工業グループは、ESG（環境「Environment」、社会「Social」、ガバナンス「Governance」）分野での取り組みを最重要課題と捉えております。「HEART「信頼される技術を通じて人間としての豊かさと成果を」という経営理念に基づき、すべての事業活動においてESG課題の解決に取り組むことで、持続的成長を実現します。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsの取り組み

2030年までに貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和な社会など、持続可能な開発のために、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」が国連総会で採択されています。

新東工業グループにおいても、ESG経営の推進に取り組むことで、SDGsの達成に貢献してまいります。

2019年度 トピックス

新東工業グループは、SDGsの達成に向け、すべての事業活動において取り組みを進めています。

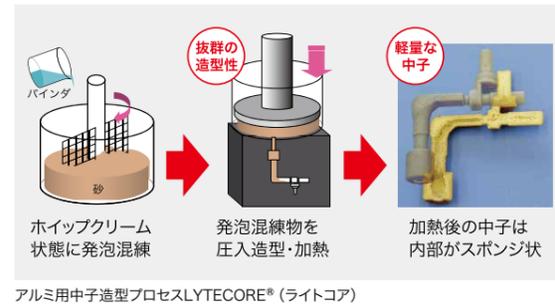
気候変動への影響を軽減するものづくりの推進

当社は、工場環境と製品機能の向上を両立させた画期的なアルミ鋳造技術をトヨタ自動車様と共同開発しました。

中に空洞があるような鋳物を造る場合、鋳型の中に「中子(なかご)」と呼ばれる砂型をはめ込みます。従来、中子を固める接着剤として主に有機物質が用いられており、大量に発生する煙、臭気、CO₂などが工場環境を悪化させる要因となっていました。

しかし、新たな技術では、①無機材料を用いるため臭いが出ない、②より複雑な形状の鋳物を造ることができる、③後工程を削減できるため、製造工程で発生するCO₂の大幅な削減が可能、となります。

この技術は、第66回(令和元年度)大河内賞において、「大河内記念生産賞」を受賞しました。



誰もが自由な移動を可能に

当社のグループ会社、株式会社メイキコウ(愛知県豊明市)では、工場内の搬送で使用されるコンベヤおよび昇降装置(シザーリフト)等の製造を行っており、その技術を応用し、車いす用段差解消機の製造も行っています。

そして現在、新たに、車いす競技の表彰式で、アスリートがメダルを授与される際に順位ごとの高さまで上昇させる「昇降式表彰台」や、三菱ふそうトラック・バス株式会社製の車いすのままでも乗降可能な「エレベーター付リムジンバス」に搭載されている昇降装置を製造し、提供しています。

同社では長年、産業界で培ってきた昇降の技術を用いて、誰もが自由に移動できる社会の実現に向けて取り組んでいます。



順位ごとの高さまで上昇する「昇降式表彰台」



平等な社会の実現に向けて

シントー・ブラジル・プロダクトス社(ブラジル)は、ブラジルにあるNGO「VOCAÇÃO(ボカサウ)」の活動に賛同し、寄付と、若者が仕事に就くための準備やその家族を支えるための支援に協力しました。このNGOでは、貧しい子供や若者約3万4千人を対象に支援を行っており、教育や社会活動に重点を置き、若者に最初の就職を斡旋したり、地域発展にも貢献しています。



創立85周年 記念イベントを開催

当社は、2019年10月2日に、創立85周年を迎えました。これを記念し、社員とその家族との絆を深め、感謝の気持ちを伝える記念イベントを、2019年11月3日に当社・豊川製作所で開催しました。

「希望あふれる職場に向けて～絆・一体感の醸成～」をテーマとして、「仲間・会社・社会との絆」をコンセプトに、メインイベントのギネス世界記録® 挑戦をはじめ、パラスポーツ体験、オープンハウス、家族へのメッセージコーナー、まぐろの解体ショーなど、多くのイベントが行われ、海外グループ会社の社員も含め1,200名が参加しました。今回のイベントは、SDGsを社員だけでなく、その家族にも知っていただく貴重な機会となりました。



ボトルキャップで作られた最大のモザイク(イメージ)

ペットボトルのキャップを使って、世界最大のモザイクアート制作に挑戦しました。社員とその家族、海外グループ会社の社員も加わり、想いをひとつに、キャップを貼りました。

完成したモザイクアートの大きさは108.568㎡、使用したキャップは105,840個となり、ギネス世界記録® を達成しました。

使用したペットボトルのキャップの売却益は、開発途上国の子どもたちにワクチンを贈り、子どもたちの未来を守る活動を行う国際支援団体である、「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」にすべて寄贈し、ワクチン支援に活用されました。



モザイクアートで使用したペットボトルのキャップを寄贈

「防災」や「環境」に関する情報を発信

社員とその家族に向け、「防災」や「環境」に関する取り組み事例の展示や、体験コーナーを設け、家庭でも役立つ情報を発信しました。

初期消火のVR体験や防災グッズの展示、家庭でできるエコな取り組み事例の紹介、CO₂や廃棄物削減に貢献する身近なエコグッズの展示、エコキャップの取り組みの紹介などを通して、「防災」や「環境」意識の向上を図りました。

また、スペシャルオリンピックス支援を目的とした、不用パソコン・携帯のリサイクル活動も行いました。



「防災」や「環境」に関する展示

パラスポーツの体験会

ダイバーシティの理解を目的に、ポッチャ、車いすレース、パラ・パワーリフティングの3つの競技の体験会を行いました。

東京パラリンピックの開催に向け、パラスポーツについて理解を深めてもらうとともに、実際に体験することにより、違いを感じることで気づきを得ることができました。

ポッチャと車いすレースは、事業所対抗戦を行い、各試合で熱い戦いが繰り広げられました。表彰式は、株式会社メイキコウの昇降式表彰台「アワードリフト」を使用し、行いました。

当日、ゲストとして、ポッチャの全国大会で活躍されている選手やパラ・パワーリフティングの全日本チャンピオンの選手にもお越しいただき、一流の技と力を披露いただくとともに、参加者と交流を図ることができました。

あわせて、今回のイベント開催に先立ち、豊川製作所のバリアフリー化も実施しました。



ポッチャの選手と対戦



事業所対抗による車いすリレー



子供たちの
輝く未来のために

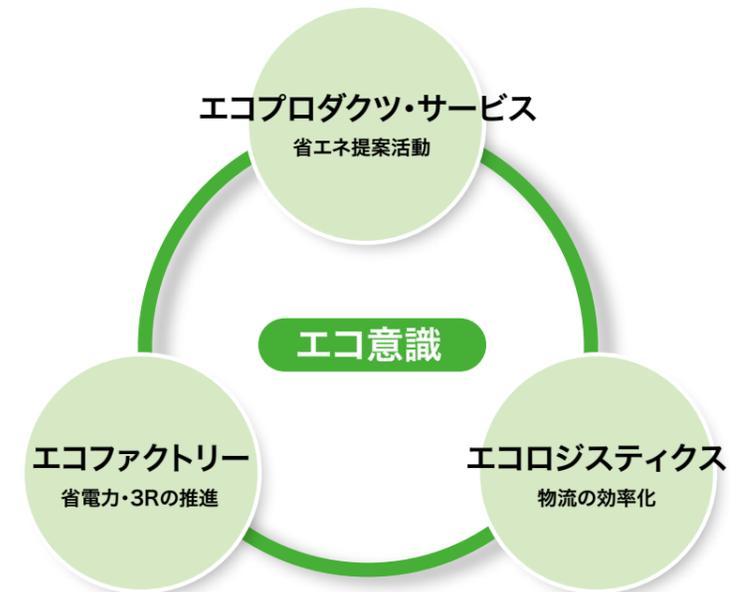
新東工業グループの全員が「エコ意識」をもって、活動をはじめています。

当社創立100周年に向けて「環境経営」の方針を策定いたしました。

低炭素社会の実現を目指して、CO₂の排出量を削減するために、「エコプロダクツ・サービス」「エコファクトリー」「エコロジスティクス」の3つの活動に取り組んでいます。

これらの活動を推進するために最も大切なことは、身近でできることからひとつずつ、着実に取り組んでいく社員一人ひとりの「エコ意識」です。全世界の社員一人ひとりが心をひとつに、ものづくりや商品開発、販売といったそれぞれの持ち場でこれまで以上に積極的に活動し、「環境経営」に新東工業グループをあげて取り組んでまいります。そして、“子供たちの輝く未来のために”、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

「環境経営」の進め方

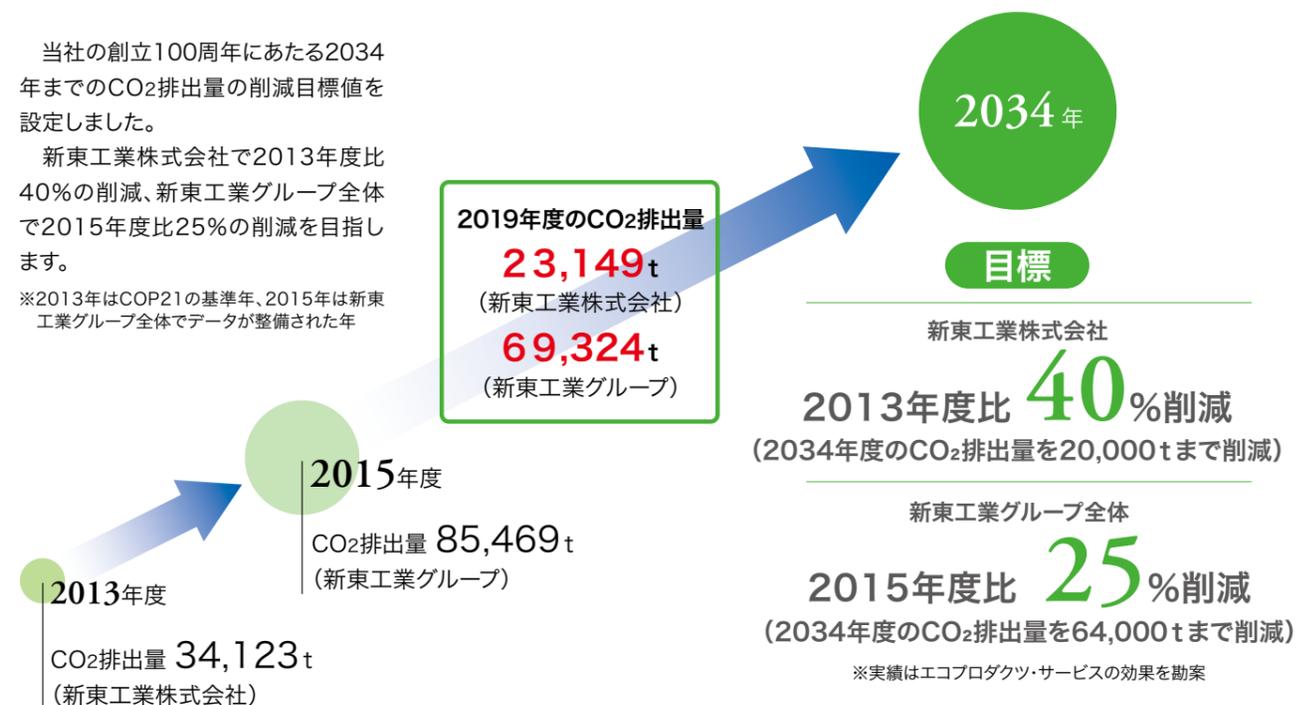


創立100周年に向けたCO₂削減計画

当社の創立100周年にあたる2034年までのCO₂排出量の削減目標値を設定しました。

新東工業株式会社で2013年度比40%の削減、新東工業グループ全体で2015年度比25%の削減を目指します。

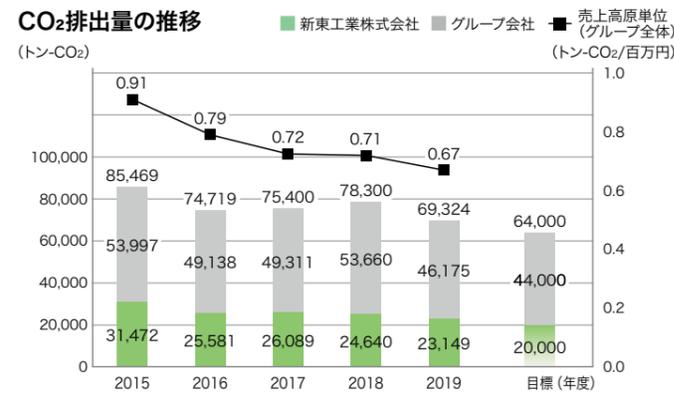
※2013年はCOP21の基準年、2015年は新東工業グループ全体でデータが整備された年





CO₂削減計画に対する進捗状況

CO₂排出量の削減目標値を達成するために、PDCAサイクルを回しながら、2019年度もすべての事業活動において環境に関する取り組みを推進しました。



新工場における電力削減の取り組み

当社・大治事業所では「人に優しい工場、環境に優しい工場、真心こめたものづくり工場」をコンセプトに、新工場を建設しました。照明や空調機器、工場内のコンプレッサを集中管理することで使用電力を見える化し、照明はすべてLEDを使用しています。人の往來の頻度が低い場所では、人感センサ付きの照明に切り替えるほか、広い空間で効率的に空気が行き渡るよう、空調機器の吹き出し口に工夫をする等、こまめな節電の工夫を行っています。工場の床面には、当社の新事業である「磨き床」工法を採用し、コンクリート床の光沢度が高まったことで工場全体が明るく感じられます。その結果、従来と比較し、約30%の電力使用料金の削減を見込んでいます。

また、電力監視システムの拡充を図ることで、エネルギーをトータルで管理する取り組みをスタートさせました。



大治事業所の新工場



電力監視システムにより使用電力を見える化

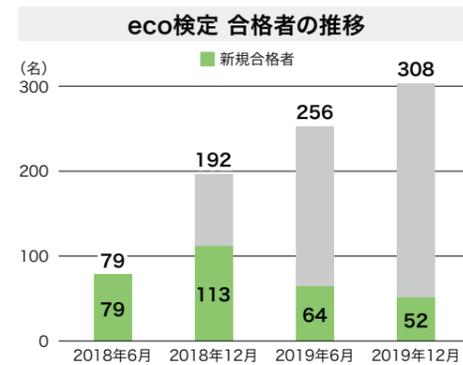
eco検定受験の促進

社員一人ひとりに、複雑・多様化する環境問題への理解を幅広く体系的に深めてもらうため、東京商工会議所主催の「eco検定(環境社会検定試験)」の資格取得の支援を積極的に行っています。

過去に合格した社員が講師となり、自主的な社内勉強会を開催するなど、2019年度までに308名のエコピープルが誕生しています。(2019年度 企業別受験者数ランキング第4位)



eco検定の取得に向けた勉強会



「エコ意識」の向上

社員一人ひとりのエコ意識を向上させるため、身近な活動に着実に取り組んでいます。

緑化活動

愛知県内の各事業所では、地球温暖化対策として、「グリーンカーテン」に取り組んでいます。社員が育てたグリーンカーテンから収穫されたゴーヤは、社員や家族によって美味しい料理になり、社内外のコミュニケーションの一助にもなっています。

また、広州新東中通機械有限公司(中国)では、地域の方の協力を得ながら、事務所周辺の緑化に取り組みました。



グリーンカーテン



社員が手作した花壇



収穫されたゴーヤ

脱プラスチックに向けた身近な取り組み

当社・豊川製作所の売店では、プラスチック製レジ袋の代わりに、不要となったポスターやカレンダーを再利用し、手作りした紙袋を使用し、脱プラスチックに向け、身近な取り組みを進めています。

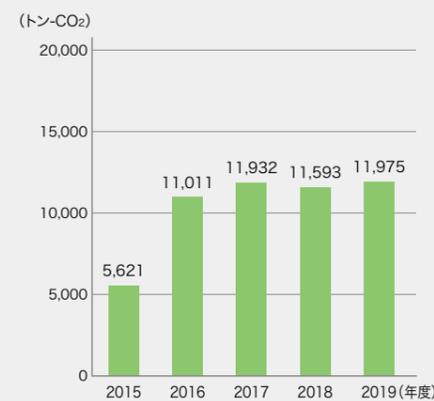


再利用した紙袋を使用

エコプロダクツ・サービス

環境に配慮した商品・サービスを提案して、お客さまのものづくりにおけるCO₂排出量の削減に貢献していきます。

お客さまのものづくりにおけるCO₂排出削減量



汎用集塵機ダスミック「JXM」

強力な粉塵払い落としによりフィルタの目詰まりを抑えることで、送風機の負荷を軽減し、ランニングコストを抑えた省エネ運転を実現します。



JXM

バレル研磨用

パワーメディア「V7 Light」

従来品と比較して高い研削力・耐摩耗性を持ち、加工時間の短縮や研磨スラッジの抑制により、お客さまの生産性向上、廃棄物処理費用削減を実現します。



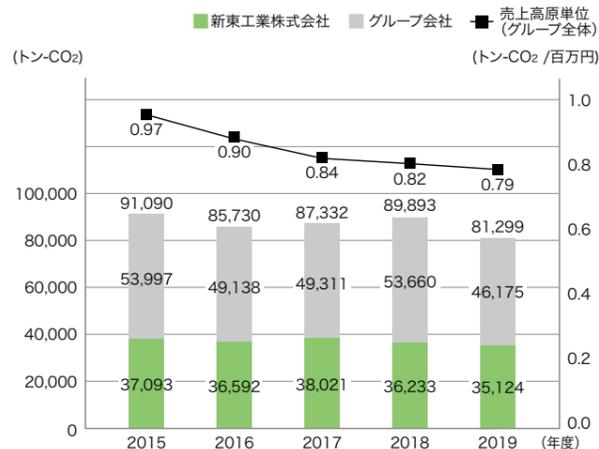
V7 Light



エコファクトリー

社員一人ひとりが工夫して、身近なところから省エネ活動に取り組んでいます。

ものづくりにおけるCO₂排出量の推移



省エネルギーに向けた取り組み

ハインリッヒ・ワグナー・シントー社(ドイツ)では、ドイツ工業規格に基づくエネルギー管理を進めています。エネルギー効率の改善策に取り組みながら、社員の省エネ意識の向上にも取り組んでいます。



エネルギー監査の証明書

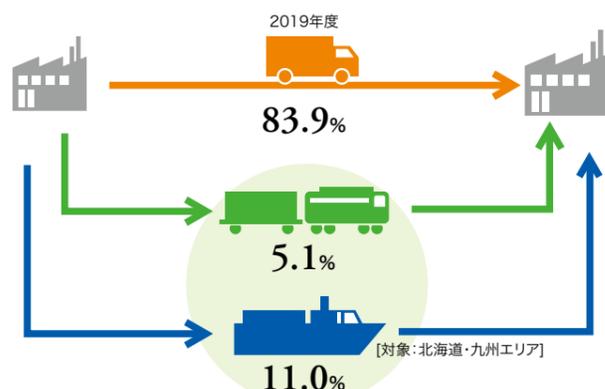
工場が発生する廃棄物のリサイクル化

シントー・ブラジル・プロダクト社(ブラジル)では、投射材工場の工場内で発生する金属系廃棄物のリサイクル化に取り組んでいます。固定費削減と環境保護とともに、社員の環境意識の向上を図ることができました。

エコロジスティクス

投射材の輸送をトラックよりも環境への負荷が少ない鉄道や船に転換し、CO₂の排出量を削減しています。

輸送の構成比 (トンキロベース)



当社は、2017年に「エコシップマーク」の認定を受けており、投射材の輸送をトラックよりも環境への負荷が少ない船に切り替える等、輸送時のCO₂排出量削減に取り組んでいます。

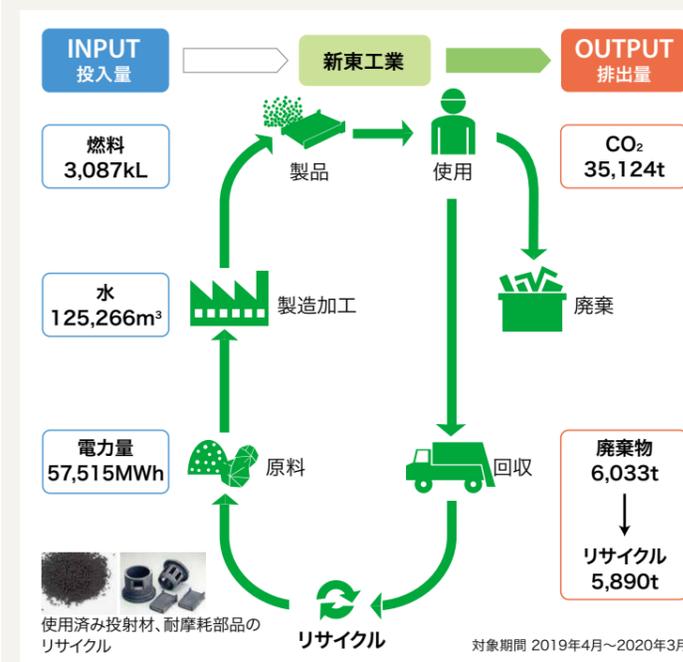
鉄道への切り替えをあわせて検討しながら、2019年度は、2017年度と比較し、対象商品で、9.1%のCO₂排出量削減となりました。

今後はさらに切り替えの対象範囲を広げる等、取り組みを進めてまいります。

環境に関するデータの推移

事業活動における全体像

当社では、国内全事業所で、事業活動に用いるエネルギーや資源のインプット(投入量)とアウトプット(排出量)を把握することで、ムダなエネルギーの使用がないかを確認する指標とし、削減に努めています。



環境コスト

集計範囲: 新東工業株式会社
対象期間: 2019年4月~2020年3月

(単位:千円)

| 分類 | 金額 |
|-------|---------|
| 環境損失 | 0 |
| 維持コスト | 112,958 |
| 環境投資 | 292,870 |
| 合計 | 405,828 |

※環境省「環境会計ガイドライン」に準拠し算出しています。

INPUT [対象範囲] 新東工業株式会社およびグループ会社

●電力使用量の推移



●エネルギー使用量の推移



OUTPUT [対象範囲] 新東工業株式会社

●廃棄物排出量の推移



●廃棄物全体のリサイクル率の推移



ESG 社会とともに

～世界の各地でステークホルダーに寄り添う～



ラマダン明けの朝食会に子供たちを招待

インドネシアでは、ラマダンの月に、多くの企業が社会貢献活動を行います。シントーインドネシア社(インドネシア)でも、ラマダン明けに近隣の児童養護施設の子供たち20人を朝食に招きました。

朝食会は、子供たちに喜んでもらえるように、飾り付けをした社員食堂を会場にし、支援金とプレゼントを贈呈したのち、特にラマダンの月に食される伝統的なインドネシア料理と一緒に食べ、交流を図りました。



子供たちにプレゼントを贈呈

近隣の高校にスポーツ用品を贈呈

シントー・バラット・マニュファクチャリング社(インド)は、隣村にある公立高校にスポーツ用品を贈呈しました。

クリケットのバッドやバレーボールのネットとボールのほか、屋内で楽しめるリングテニス用品など、体育の授業で使える道具を生徒たちに届けました。



生徒にスポーツ用品を贈呈

病院の子供たちへクリスマスプレゼント

オメガ・シントー・ファンドリー・マシナリー社(イギリス)では、地元のピーターバラ市立病院の小児病棟の子供たちにクリスマスプレゼントを贈りました。

プレゼントは、クリスマスを病院で過ごさなくてはいけない子供たちに向け、2019年11月～12月にかけて、社員の手で選び、病院に届けました。



病院にプレゼントを届けたオメガ・シントー・ファンドリー・マシナリー社の社員

海外の学生との交流

当社は、毎年、海外から学生を受け入れ、さまざまな研修を行いながら、交流を図っています。

2019年5月から7月までの2ヵ月間、アメリカ・インディアナ州サウスベンド市にあるノートルダム大学ビジネススクールの学生2名が、研修を受けました。同大学からの学生の受け入れは、今年で28回目となりました。

また、同じく2019年5月から7月までの2ヵ月間、アメリカ・ミシガン州ホートン市にあるミシガン工科大学の大学院生2名を受け入れ、サマー・フェロースHIP・プログラムを行いました。



サマー・フェロースHIPで受け入れたミシガン工科大学の大学院生

地元の高校生に手書き製図を指導

新東エンジニアリング株式会社は、愛知県の工業高校の生徒を対象とした地域ものづくりスキルアップ講座「クラフトマンⅢ」を昨年に続き、行いました。この講座は、愛知県教育委員会からの依頼に基づく活動で、より実践的な技術・技能を習得することを目標として、今後の地域産業界を担う意欲をもった生徒を育成する取り組みです。

2019年8月に1週間、地元の工業高校の生徒3名を受け入れました。手書きでの機械製図を中心に、2D-CADおよび3D-CADの作成・操作の指導等を行いました。



手書き製図の指導を受ける工業高校の生徒たち

トップアスリートを支援

当社は、競泳選手として第一線で活躍するトップアスリート2名を社員として迎え、アスリートと社会人それぞれの活躍をサポートしています。

ともに働く仲間の競技活動を社員一丸となって応援することで、社内一体感も高めています。



競泳選手として第一線で活躍



安江選手(バタフライ100m)



難波選手(自由形100m)

名古屋工業大学ソーラーカー部を応援

当社は、学生支援の一環として、名古屋工業大学ソーラーカー部へ、ソーラーカー製作費の支援を行い、心臓部であるソーラーパネルの高精度化に使用されました。

製作されたソーラーカーで、2019年10月に開催されたBridgestone World Solar Challenge(※)に出場し、過去最高成績の8位で完走しました。

※約5日間をかけてオーストラリア北部のダーウィンから南部のアデレードまでの約3,000kmを走破する世界最高峰のソーラーカーレース



当社の支援を受け、作られたソーラーカーでレースに参加

「新東いものキャンパス®」を開催

私たちの暮らしの中で多くの鋳物製品が活用されていることを伝えるとともに、ものづくりの楽しさを体感してもらうことを目的に、毎年さまざまなイベントで鋳物づくりの体験ができる「新東いものキャンパス®」を開催しています。

2019年度は、名古屋商工会議所による「モノ+ガタリ」プロジェクトに参画し、愛知県内の小学校で「新東いものキャンパス®」の出前授業を行ったほか、あいち産業科学技術総合センター等のイベントにも参加し、合計で6回の「新東いものキャンパス®」を開催しました。



名古屋商工会議所「モノ+ガタリ」プロジェクトで鋳物づくりを学ぶ子供たち

お客さま

安全な製品の提供

当社は、「安全は全てに優先」の考えのもとに、お客さまに製品を安全にご使用いただくため、すべての製品に対して開発・設計段階からリスクアセスメントを実施して安全な製品の提供に努めています。

製品安全設計の公的資格である「セーフティアセッサ」および「セーフティサブアセッサ」資格の取得を推奨しており、現在121名が資格を取得しています。

品質向上の取り組み

当社は、「不具合を再発させない」をスローガンに、発生した不具合に対して「なぜなぜ分析」の手法による徹底的な真因追究ならびに再発防止に努め、お客さま満足の向上につなげています。

近年、高度化するお客さまからの要求事項を実現するため、品質マネジメントシステムの継続的な改善を行っています。第三者機関による審査、内部監査を通じて、適切な仕組みを構築しています。

また、シントー・ブラジル・プロダクトス社(ブラジル)では、製造現場での特定の問題と、目標に焦点を当てた問題を解決するために、トラブルシューティング・チームを結成し、改善を行っています。チームは生産、品質、メンテナンスといった様々な部門の社員で構成され、全員で根本原因の分析を追究しています。



トラブルシューティング・チーム

ビジネスパートナー

お取引先の皆さまへCSR活動を展開

当社の重要なビジネスパートナーとして、多くのお取引先の皆さまと意思を共有しながら、ものづくりに取り組んでいます。定期的に情報交換会を開催し、「公平・公正な取引」「法令順守」「安全・品質・環境」について、考え方の普及と理解に努めています。

2019年度は、お取引先の会「新睦会」での勉強会を通じて、当社の品質に対する取り組みをもとに、お取引先の皆さまが自社で改善活動した成果を会の皆さまと共有することで、さらなる品質の向上につなげる活動に取り組みました。品質の改善活動により、作業場の整理・整頓、作業動線の短

お客さまに安心をお届けするために

当社は、「お客さまの設備を止めない」ために、生産に関わる動作を24時間監視しながら、工場の生産性や保守性の向上を図り、業務の効率化を実現するシステム「プロセス可視化システム ePVS™」を提供しています。一元化されたサイクルデータは、さまざまな視点で分析もでき、お客さまの改善活動を支援します。

工場の中では、さまざまな生産プロセスで設備や装置が動いています。現実動いている設備や装置の複雑な動きを一つ一つデータ化することで、今まで見えなかった“動きの状態”までを可視化することができます。

そして、生産プロセス内の一元化されたデータを経営者視点、現場視点など、さまざまな視点で分析することで、お客さまが装置や設備を安心して使い続けるための改善計画や保守計画まで支援しています。



社員

「健康経営」の推進

当社では、人材こそ企業にとって最大の財産であり、その成長と活躍が企業全体の発展につながると考えています。このような「活人主義」の考えのもと、人間性を尊重し、社員が心身ともに健康で、一人ひとりが輝きあえる人材として自身の役割を最大限に発揮できる会社を目指しています。それに向けた健康経営推進の取り組みとして、組織的な健康施策(生活習慣病・メンタルヘルス対策、ワークライフバランスの推進等)を展開し、社員とその家族自身が行う健康づくりを積極的に支援しています。このような健康経営推進の取り組みが評価され「健康経営優良法人(ホワイト500)」に4年連続で認定されました。また、こうした活動を通じて、社会的要請でもある「健康寿命の延伸」にも貢献してまいります。

4年連続認定



社員の健康づくりをサポート

社員の健康保持・増進の支援施策のひとつとして、「女性特有の健康課題(乳がん等)」に関する勉強会を実施しています。女性社員に対し、病気や病状、予防対策や治療法などの知識習得の機会を提供するとともに、社員自身の健康意識の向上にもつながっています。

その他、社員の健康づくりの意識向上を図っています。ウォーキングなどの運動習慣をつけるため、スマートフォンを活用した歩数計アプリへの参加を積極的に呼びかけています。また、歩数を競い合うイベントの実施や社外のウォーキングイベントに積極的に参加することにより、社員同士のコミュニケーションの活性化にもつながっています。

女性向け健康勉強会の参加者数

242名

健康促進のイベント参加者数

670名

「見える」安全活動コンクールの優良活動事例に選出

当社が開発した工事現場における危険予知(KY)スキル向上を目的として、現場作業時に必要な情報(過去の災害事例・リスク事例・関係法令・企業内固有情報等)をスマートフォン等で入手できるアプリ「i Safety®」が、厚生労働省主催による令和元年度「見える」安全活動コンクールで、優良活動事例に選出されました。

海外グループ会社での「健康経営」に向けた取り組み

韓国新東工業株式会社(韓国)は、社員の健康管理のために、2019年6月に健康保険公団が主管の健康管理と保健教育を実施しました。今回の教育は、国家機関が直接主管する教育であり、「メタボリックシンドロームの理解および管理」というテーマで、嶺南大病院の教授による講義の他、健康測定および結果相談などを行いました。



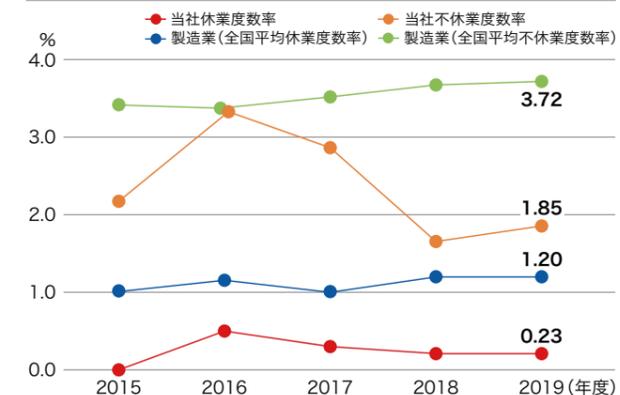
教育を受ける社員たち

安全に向けた「人づくり」

当社は、人間性を尊重し「安全最優先」と「健康増進」を基本理念とし、すべてのお客さまに信頼、共感される企業を目指し、すべての社員が一体となって安全衛生活動を進めています。この思いを共有するため、全社員に向けて労働災害や交通事故が発生しないように、安全の基本、重大災害のポイントなどをまとめた「安全基本心得カード」を配布いたしました。

また、各連休工事前には、指導員や協力会社の方々に対し、安全大会および激励会を開催しています。激励会では、トップ自ら安全に関する強い思いを伝えています。

休業・不休業度数率の推移



海外グループ会社での「安全」の取り組み

ハインリッヒ・ワグナー・シントー社(ドイツ)は、労働安全衛生マネジメントシステムの強化に取り組み、2019年5月にISO45001の認証を取得しました。

その他、青島新東機械有限公司(中国)では、毎年、安全大会を開催しています。また、台湾百利達股份有限公司(台湾)では、年2回安全教育を行い、グループ一丸となって、グローバルで安全意識の向上を図っています。



お取引先の会「新睦会」での情報交換会

縮など、働く方々の環境改善にもつながっています。

また、グリーン調達ガイドラインを配布、事業活動に関わる環境への取り組み推進をお願いしております。今後は部品引取りの運送便見直しでのCO₂排出量削減に取り組んでまいります。

ESG コーポレート・ガバナンス

～グローバルで、信頼の経営を～



グローバルベースでのガバナンス体制の向上

当社は経営の透明性を高め、経営環境の変化に柔軟かつ迅速に対応できる組織体制を整備するとともに、グループ全体でコンプライアンス体制を構築することが必要と考えております。海外グループ会社を含むすべての社員に向け、大切にしていきたい思い、考えをまとめた「Sinto Beliefs」を制定し、企業倫理行動指針、安全方針、環境方針および品質方針を共有しています。特に、海外グループ会社とは、各社のトップが参加する「Sinto International Conference」を開催し、グループ経営方針の周知徹底を図るとともに、リスクマネジメントの状況やCSR活動等について確認を行っています。



2019年度「Sinto International Conference」

ヨーロッパに持株会社を設立

当社は、2019年5月にヨーロッパのグループ会社4社の経営管理を統括する持株会社として、シントー・ヨーロッパ社をドイツに設立しました。

これまで、海外グループ会社は独自にリスクマネジメントを実施していましたが、ヨーロッパ地域のグループ会社が、ここ数年増加してきたことにより、リスクマネジメントをより強化することを目的としています。

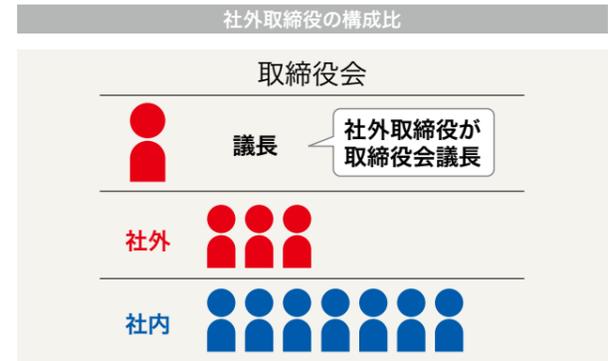
同社がヨーロッパのグループ会社のリスクマネジメントのモニタリングを現地で行い、効果的かつ効率的に、ヨーロッパのグループ会社のガバナンスをサポートしていきます。

取締役会

当社の取締役会は、11名の取締役で構成されています。取締役の選任基準は、取締役会で決議され、候補者は指名・報酬委員会の答申を受けて決定されます。11名のうち、4名は社外取締役で、全体の1/3を超えています(2020年6月現在)。いずれも、会社経営に関する豊富な経験や高い見識を有し、取締役会における意思決定や経営の監督に的確な助言を行い、取締役会の実効性向上に貢献しています。

2019年度の実効性向上に貢献しています。2019年度の実効性を高めるため、社外役員へは、事前に資料を配付し、内容説明を行っています。

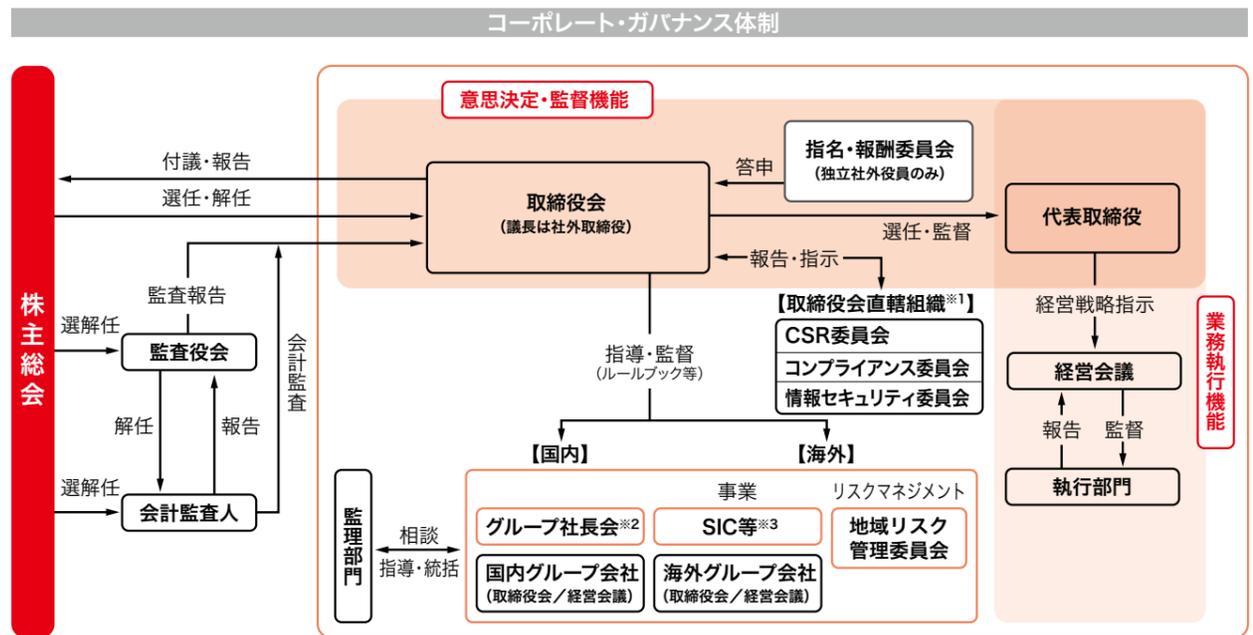
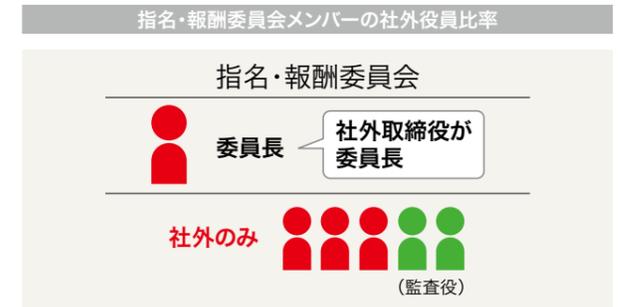
2017年6月からは、社外取締役が取締役会長として取締役会の議長も務めており、経営監督の機能をさらに高めています。社外取締役4名全員は、一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であり、東京証券取引所に届け出ております。



指名・報酬委員会

当社は、取締役・監査役候補者と報酬制度の検討等を行うために、任意の組織として指名・報酬委員会を設置しています。同委員会は、社外役員のみで構成しています(社外取締役4名、社外監査役2名計6名、2020年6月現在)。

2019年度の指名・報酬委員会は、計2回開催し、独立性・客観性の高い審議が行われ、取締役候補者および取締役の執行・経営監督の状況の評価について審議のうえ、取締役会に答申いたしました。



※1 取締役を主要メンバーとし、CSRに関する課題の抽出、対応方針の策定、実施状況のフォローなどを行う。
 ※2 主要な国内グループ会社のトップが一堂に会し、法令順守の状況、各種ルール改正、国内グループ会社に適用される「ルールブック」の更新、CSR関連の重点項目やその実施状況の確認を行う。開催頻度は年4回。
 ※3 Sinto International Conferenceの略。主要な海外グループ会社のトップが一堂に会し、事業運営上の課題を議論・検討するほか、海外グループ会社に適用される「ルールブック」の更新、各種リスクへの対応やCSR活動の状況等を確認する。開催頻度は年1～2回。

内部統制

当社では、「内部統制システムに関する基本方針」を定め、新東工業グループ全体の業務の適正性を確保するための体制を整備しています。

コンプライアンス・ガバナンスに関するテーマのみを手掛ける組織として「コンプライアンス委員会」(委員長は代表取締役、委員は取締役全員)を独立組織とし、取り組みの深化を図っています。

また、金融商品取引法に基づく、「内部統制報告制度」により、内部統制の整備や運用が適切に実施されているかを、監査部門が定期的に監査し、その後、監査法人の評価を得て、金融庁へ事業年度ごとに内部統制報告書を提出しています。

監査役会

当社の監査役会は、4名の監査役で構成されています。4名のうち、2名は社外監査役で、豊富なビジネス経験と高い見識を有しており、客観的な視点で取締役会の決定の適正性確保に貢献しています。2019年度は16回の取締役会と16回の監査役会を開催しました。社外監査役2名は、一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であり、東京証券取引所に届け出ております。

適切な情報開示とIR活動

当社は、国内外の投資家の皆さまとのインベスター・リレーションズ(IR)を重視し、企業経営と事業活動に関する情報の当社IRサイトへの掲載や、半期決算ごとのアナリスト・機関投資家向け説明会の実施等を通じ、迅速かつ正確な情報開示に努めています。

さらに、株主・投資家の皆さまだけでなく、広く情報を開示するため、当社ホームページなどを通じて、企業経営や事業活動についての情報を積極的に開示しています。

具体的な活動といたしましては、2019年度も、東京・名古屋で開催されました個人投資家向け投資フェアに参加し、ご来場されたお客さまにFace to Faceで当社の魅力をアピールしたほか、証券会社において会社説明会を開催し、約100名の個人投資家の方とコミュニケーションをとらせていただきました。また、2018年度より始めた東京・大阪・名古屋での個人株主さま向け説明会においては、2019年度も総勢九百余名の方からお申し込みをいただきました。

毎年、株主アンケートを実施し、貴重なご意見、ご要望をお聞かせいただいておりますので、今後のIR活動に生かしていくとともに、引き続き、株主の皆さまとのコミュニケーションを図る機会を設けてまいります。



個人投資家向け投資フェア(東京)

情報セキュリティの取り組み

近年、サイバー攻撃が巧妙・複雑化しており、情報セキュリティの重要性はますます高まっています。会社の機密情報や情報システムを守ることはもとより、当社では、事業の付加価値向上にむけ、サービスの情報化・デジタル化を推進しています。

サイバー攻撃の脅威から情報資産を守るため、「情報セキュリティ委員会」を設置し、情報セキュリティに対するリスクを洗い出してリスクマップを策定するほか、さまざまな活動に取り組んでいます。本年度は、情報管理に関する最上位の規程として「秘密情報管理規程」を制定するとともに、情報セキュリティ強化に向けて、情報機器の使用に関するルールを見直し、全社で情報セキュリティに関する研修を実施いたしました。

事業継続計画(BCP)

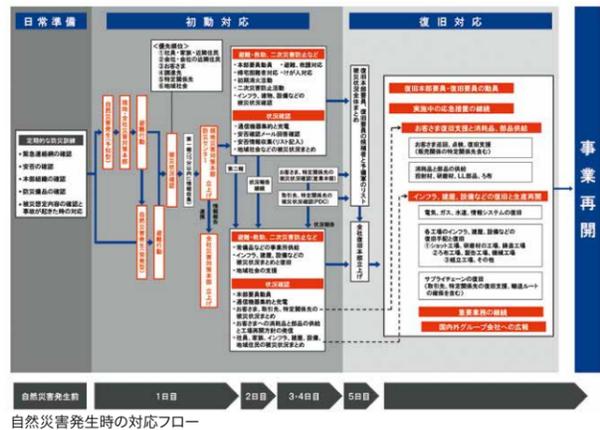
近年、大規模な自然災害が多発しています。当社では、緊急事態に遭遇した時に、従業員とその家族、地域社会や取引先に対して何ができるかを考えるとともに、お客さまへの部品等の供給責任を果たすため、事業継続計画(BCP)を策定し、防災・減災に向けた活動に継続して取り組んでいます。

防災の日には、全事業所の選抜メンバーによる初期消火、応急手当、救命救護の競技大会を開催しました。選出されたメンバーが、日頃の防災訓練等で培ってきた成果を披露し、競い合いました。

災害が発生した際、対策本部の運営を行う本部要員へは、いざという時セミプロとして行動できるよう、BCPマニュアルに基づいた防災訓練を繰り返し行っています。



自衛消防隊のメンバーによる競技大会



海外グループ会社での防災訓練

ハインリッヒ・ワグナー・シントー社(ドイツ)があるパートナーズフェ地域のボランティアの消防団が、同社の工場を使用した消防訓練を行いました。この消防団には、同社の社員の1割も、消防団員として働いています。

訓練は、火災や有害物質の流出を想定した状態からの人命救助など、様々な状況で消防団員同士が連携する訓練が行われました。



パートナーズフェ地域の消防団員とハインリッヒ・ワグナー・シントー社の社員

ESGに関する主要な取り組み(2019年度実績と2020年度目標)

○:目標達成 ×:目標未達成

| | 2019年度 主要な取り組みと目標 | 2019年度 実績 | 評価 | 2020年度 主要な取り組みと目標 |
|---|----------------------------------|----------------------------------|----|----------------------------------|
| E | CO2の排出量(連結) 前年度比3.0%削減 | CO2の排出量 前年度比10.0%削減 | ○ | CO2の排出量 前年度比1.0%削減 |
| | 売上高原単位(連結) 2.9%低減 | 売上高原単位 3.5%低減 | ○ | 売上高原単位 1.0%低減 |
| | 環境に配慮した商品の販売によるCO2の削減量 12,700t/年 | 環境に配慮した商品の販売によるCO2の削減量 11,975t/年 | × | 環境に配慮した商品の販売によるCO2の削減量 12,100t/年 |
| S | “新東いものキャンパス®” “新東プラスチック”の積極開催 | “新東いものキャンパス®”6回開催 | ○ | “新東いものキャンパス®”の積極開催 |
| | 健康経営優良法人 4年連続認定 | 健康経営優良法人 4年連続認定 | ○ | 健康経営優良法人 5年連続認定 |
| G | 女性特有の健康課題に関する勉強会を11拠点で実施 | 女性特有の健康課題(乳がん)に関する勉強会を11拠点で実施 | ○ | 女性特有の健康課題(子宮頸がん)に関する勉強会を11拠点で実施 |
| | 個人株主向け説明会・機関投資家ミーティング開催数 10回 | 個人株主説明会3回、機関投資家MTG4回の合計7回 | × | 個人株主向け説明会・機関投資家ミーティング開催数 10回 |
| | スピークアップ制度の改訂・運用開始 | スピークアップ制度の社内規程を制定 | ○ | 情報管理にかかる具体的なルールの制定 |
| | コンプライアンステストの実施(5分野) | コンプライアンステスト5分野実施 | ○ | 取引先とのコンプライアンスにかかる各種契約の見直し |

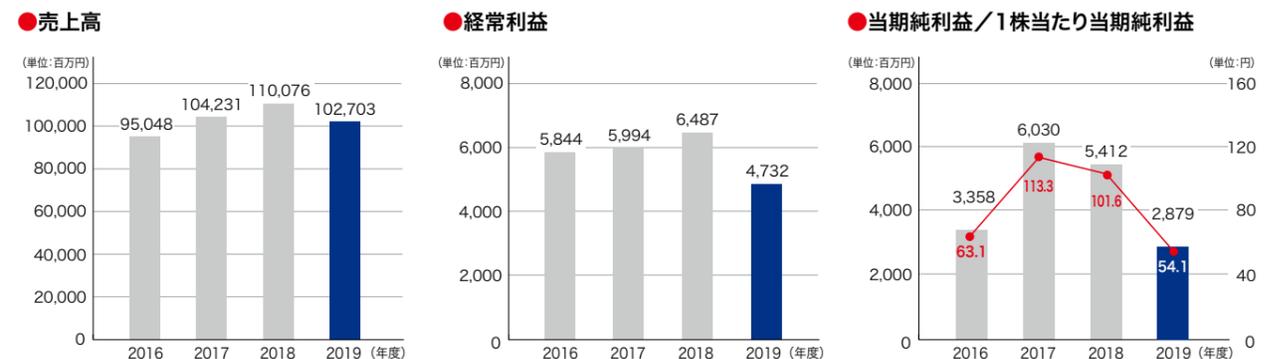
会社概要

商号 新東工業株式会社
 本社 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号
 設立 1934年(昭和9年)10月2日
 代表者 取締役社長 永井 淳
 資本金 57億52百万円 (2020年3月31日現在)
 従業員数 単体:1,706人
 連結:4,099人(2020年3月31日現在)
 子会社 56社(海外含む)
 関連会社

事業概要と主要製品

- 表面処理事業
 ショットプラスト装置、エアープラスト装置、ショットピーニング装置、マイクロプラスト装置、研磨機、投射材、研磨材、耐摩耗物、表面評価装置、受託加工サービス
- 鋳造事業
 鋳造プラント、生型造型設備、生型砂処理設備、自硬性設備、Vプロセス設備、アルミ鋳造関連設備、中子造型機、注湯機・溶湯搬送設備
- 環境事業
 集塵装置、排ガス処理装置、廃水処理装置、プラスタック、床事業
- 搬送事業
 シザーリフト、コンベヤ、システム&トラックヤード
- 特機事業
 サーボシリンダ、サーボプレス、電気特性検査装置、自動車部品検査装置、混合・分散システム、座標測定機、寸法測定機
- 新分野
 無菌分野、セラミックス分野、EV分野、粉分野、有機EL分野、力覚センサ

連結業績の推移



表紙の写真は2019年11月3日に行われた創立85周年記念イベントにてギネス記録を達成した際のものです。

正式記録名：ボトルキャップで作られた最大のモザイク(イメージ)

記録数値：108.568㎡

認定日：2019年11月3日

CSR報告書2020

- 報告期間 2019年4月1日～2020年3月31日
- 報告対象範囲 新東工業グループの全活動
※部分的に新東工業株式会社(本文では「当社」と表記)に限定している場合もあります。
- 発行日 2020年6月19日
※前回2019年6月発行、次回2021年6月発行予定
- お問合せ先 コーポレート部

新東工業株式会社

〒450-6424 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号

Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279

www.sinto.co.jp



「Company Song」
新東工業グループ共通の思いを表現し、
企業理念の浸透をはかっています。

VOC
FREE T&K

VOC(揮発性有機化合物)成分フリーの
インキを使用して印刷しました。

